

## はじめての投資理論

### 「ウェブセミナー」とは

- ・四つの機能（動画コンテンツ・音声コンテンツ・テキストレジュメ・確認テスト）を活用し、業務知識を学べる新しいeラーニングシステムです
- ・さまざまなデバイス（PC・スマホ・タブレット）で利用でき、場所を選ばず、好きな時間でセミナー受講と同等、それ以上の効果が期待できます



トライアルはこちら

### 「はじめての投資理論」ウェブセミナーの内容

金融の世界で働いていたら知っておきたいのが「投資理論」です。  
難しいイメージが伴いますが、基本事項を理解するだけでも多くのことを理解することができます。  
顧客に対して、NISA や iDeCo のアドバイスをを行う際、共感や信頼を得ることができます。

#### ●教材構成・カリキュラム

テーマ	内容	収録時間数
【オープニング】オリエンテーション	・ガイダンス	17分08秒
【Section1】数値分析の考え方	・全体像とその平均値 ・各データのバラツキ	(前半)16分50秒 (後半)20分12秒
【Section2】リスクとリターン	・一資産に投資した場合 ・二資産に投資した場合	(前半)19分01秒 (後半)08分41秒
【Section3】ポートフォリオ理論	・二資産のポートフォリオ ・相関係数と最適ポートフォリオ	(前半)15分58秒 (後半)19分20秒
【Section4】金銭の時間的価値	・DCF法と現在価値 ・配当割引モデル	(前半)16分29秒 (後半)25分58秒
【Section5】効率的市場価値	・効率的市場と非効率的市場 ・アクティブ運用とパッシブ運用	15分04秒
【Section6】確認テスト	・○×問題全10問のランダム出題 ・60%の正答率で修了認定	—

※確認テスト（10問）をweb上で受講いただきます 担当講師：リンク・イノベーション 代表 中野 克彦

#### ●サービス提供価格

FP 継続教育ウェブセミナー	課目	単位 (AFP・CFP 共通)	利用可能期間	受講料（税込）
『はじめての投資理論』	金融資産運用	3単位	3ヶ月	6,600円

※受講期限は申込月の翌月1日からのカウントとなります。

#### ●推奨利用環境

ブラウザ：Edge、Safari、Google Chrome

講義映像・音声は、弊社eラーニングシステム内でのストリーミング配信になります。

スマートフォンなどモバイル端末をご利用の場合は、4G回線ではなくwi-fi環境でのご利用をお勧めします。

ご利用の機種・ブラウザ・アプリによっては動作に制約がある場合があります。あらかじめご了承ください。

#### お問合せ・お申込みは…



ビジネス教育出版社  
BUSINESS KYOIKU SHUPPANSHA

教育事業部

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-13

TEL:03(3221)5365 FAX:03(3222)7878

E-mail:webexc@bks.co.jp URL:https://www.bks.co.jp

# 教材イメージ

## ①講義映像

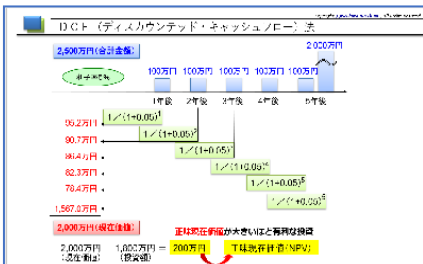
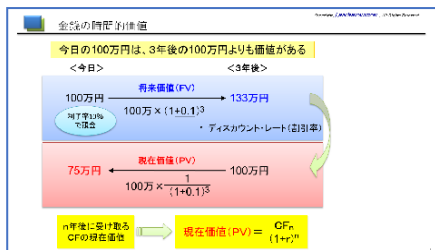
講義動画をストリーミング再生で視聴できます。レジュメも講義の内容に合わせて、画面に表示されます。



講義動画サンプル

## ②レジュメ

レジュメデータを表示・ダウンロードできます。事前に印刷して手元資料とすることも可能です。



レジュメサンプル

### 1章 オリエンテーション

#### 動画再生

金融機関の職員なら知っておきたい！

## はじめての投資理論

数値分析の考え方

リンク・イノベーション  
代表 中野 亮彦

基準値から偏差値へ

	得点の和 データ数	偏差の2乗の和 データ数	得点-平均点 標準偏差	偏差-平均点 標準偏差	基準値	
物理	73	53.0	+20	515	22.7	0.88
世界史	73	53.0	+20	335	18.3	1.09

偏差値 = 基準値 × 10 + 50

物理 = 0.88 × 10 + 50 = 58.8

世界史 = 1.09 × 10 + 50 = 60.9

平均点 = 0, 標準偏差 = 1

#### テキスト (PDF)

Section1 レジュメ  
(こちらからダウンロード・表示できます)

## ウェブエクササイズ

企業コード:

ID:

パスワード:

ログイン

IDとパスワードでログイン!

## ③確認テスト

各問題に回答し、採点を行うと直ちに採点結果と解説が表示されます。

#### 確認テスト「決算書の見方」合格点60点(10点満点)

全10問 (2択1問×1点) 合格点60点 (ランダム選んだ問題が毎回出題されます)

問題1: 決算書内訳表までの流れは、取引発生→伝票発生→元帳作成→試算台帳→決算現表です。

問題2: 貸借対照表は、貸借の部、負債の部、純資産の部の3つに分け、右側に貸借の部、左側に負債の部、純資産の部という構成になっています。

問題3: 損益計算書とは、損益計算書において貸借対照表を前提として行われるものです。損益計算書を作成するには、貸借対照表の貸借対照表を前提とするなどの前提設定が必要です。

採点

問	正	誤	採	解
問1	1	0	1	0
問2	1	0	1	0
問3	1	0	1	0
問4	1	0	1	0
問5	1	0	1	0
問6	1	0	1	0
問7	1	0	1	0
問8	1	0	1	0
問9	1	0	1	0
問10	1	0	1	0
問	計	計	計	計
問	1	0	1	0

確認テストサンプル

詳しくは、弊社専門スタッフへお問い合わせください



**ビジネス教育出版社**  
BUSINESS KYOIKU SHUPPANSHA

教育事業部

TEL: 03(3221)5365

FAX: 03(3222)7878

E-mail: webexc@bks.co.jp

URL: https://www.bks.co.jp